

時間割番号: 3705020000					
リベラルアーツ総合探究Ⅱ					
担当教員					
渡邊 史, 大谷 宗啓[Aya Watanabe, Munehiro Ohtani]					
開講学部等	教養教育	対象年次		単位数	2
開講時期	秋学期	開講曜時	月3	クラス	(CS)【大津】
ナンバリング	GECE03002				
授業形態	ブレンド授業(対面授業が半分未満)				

授業の目的と概要

■ 本講義は副題を【Show must go on】と題し、Entertainment の構成に関する様々な要素を学び、それらを実地に学習、体験しつつ展開します。
... 今回、協力を仰ぐ「ひこね市文化プラザ」はじめ、「地方公共ホール（劇場_またはそれに類する発信、発表側）」が抱える課題」に対し、「Entertainment（エンタメ）」の消費者、提供者、両面の視点をもって臨みつつ、課題解決の道筋や方法を模索しましょう。
... グループワークを通じて仲間同士で協力しあい、実践的に深く「エンタメ」と関わることから、地域社会の課題解決に向き合います。

■ この科目は【環びわ湖大学・地域コンソーシアム】単位互換提供科目です。
... 滋賀大学以外からの受講者が登録する可能性があり、多様な人材との交流があります。
<https://www.kanbiwa.jp/business/2026gokan-1.html>

■ 概要
・ 受講者を数人ずつのグループに分け、グループごとに「オリジナル作品」を作製することを最終目的とします。
・ 指定した「楽曲」をベースとしつつ、オリジナルの「物語（story）」を作りましょう。
・ 講義内で作品構成要素となる事々、「台本、脚本」「セリフ、ナレーション」「音楽」などの作成、使用、効果について学び、実践体験機会を持ちます。培った学びや知識を活用し、オリジナルの「作品」を、5-10分程度の「動画作品」として作成しましょう。
・ 出来上がった「作品」は「動画データ（mp4.）」として提出し、web にて、広く社会に発表します。

■【目的】
・ 本講義は作品作製の「プロセス」それ自体が主軸です。
... 受講者が分野横断的な視点をもって総合的な問題解決に挑み、各種課題の発見、解決能力獲得・育成のきっかけに出会うことが、講義の目的です。
... 「エンタメ作品」作成の「立案」や「発表」を実現するには具体的な各種手順が必要であり、適時適切に「問題解決能力」の発揮が要求されます。
... 多面的視点をもって様々な情報、要素を活用・統合し、「課題の発見・解決」のために論理的思考を働かせていく、文字どおり “Active Learning” の機会となります。

・ 本講義においては「他者との協働」が重要です。
... 「作品」作製の過程においては、グループ内でのコミュニケーションが必須です。
... 対話を通じて他者の考え方を吟味し、個々の考え方の適用範囲を広げながら、あらゆる具体的可能性を模索し、解決へ向けて「プロジェクト」を進行させていくことになります。

■【進行スケジュール】
・ 本講義は進行の主軸をTeamsを用いた相互オンラインLive形式とします。

【★注①】第5回目のみ、「対面による演習」とします
11/7_彦根キャンパス(講堂) 14-16時
11/8_大津キャンパス(音楽棟) 14-16時
... いずれかに出席してください。特段の事情により出席が難しい場合は、個別に相談してください。
... この機会は「大学公開講座」との共同開催であり、社会一般の受講希望者も参加します。

【★注②】
学年暦では 12/24(木) を月曜日振替授業と設定されていますが、本講義は、この日に開講いたしません。
... 本シラバスの「授業計画」に記したスケジュールで進行します。

■【講義の展開】
... Teams に当該講義のチームを作成し、受講者全員がそこに所属します。
... 講義定時(12:50-14:20)に、Teams 上で開催されるミーティングに各自がログインしましょう。
... 適時にリアクション、回答、発言を求める場合がありますので、イヤホン、マイク、チャットキーボード等のデバイスを各自が準備しましょう
... 特段の事情によりLive時にリアクションが難しい場合は、当該講義前にエクスキューズを入れてください。

・ グループ分け
... 第3回講義時に、履修者全体をランダムにグループ分けします。
... その後は「グループ」ごとの活動も交えて展開します。
... グループ内でのコミュニケーションは、Teams グループチャットで行います

・ 15回の講義中、7回ぶんを「知識獲得（座学、演習、演習）」とし、8回ぶんを「実践」と予定します。
... “Entertainment 作品” の構築に不可欠な様々な要素、課題を各回ごと、具体的に提示します

・ 各回に配布する「ワークシート」の項目を適切に埋めていくことで、各自の取り組み内容整理、進捗確認が可能です。
... ワークシートを活用した作成プロセスの進行形式は、多面的視野、論理的思考能力構築に、効果が認められています。
... これまで小学校3年～成人の実地体験において成功エビデンスがあります

・ 講義内の適時に、グループごとに進捗報告会を行います。
・ プロジェクトの進行中、講義時間内にて、各グループの進捗に応じた個別相談、指導機会を設けます。

授業の到達目標

講義の副題目 “Show must go on” は、もともと演劇用語であり、英語圏の慣用句としては「何があってもやり遂げよう」の意です。「芝居の幕が上がったら、終わりまで努めなくてはならない」... 仲間同士のくだけた場では、しばしば「まだ終わりじゃないぜ！」の合言葉として用いられます。

・ Entertainment (エンタメ) 作品を構成する内容を知る
→【課題解決】の実践シミュレーション
... 自身が得た「知識」を整理し、それらを踏まえた上で「計画」を立て、完成状態を「予測」し、「見とおし」を立てながら、都度「調整」しつつ、「具体的」に、作業を「遂行」する。

・ これまでの「自分自身の経験」に、講義にて得る「知識」、「技術」を加え、「結果（作品）」に反映することを試みる。
→【課題解決】の実践シミュレーション
... 「知識の蓄積」、「技術の体験実践」から「能力」の拡大をはかり、自身の「可能性」、「教養」の拡大を目指す。

・ 他者と共通の目的のために「協働」しつつ、作品作製を行う
→【コミュニケーション】【自己表現】【主観と客観】【自己実現】
... 全体を俯瞰しつつ、自身の視点、他者の視点を往復し、“better”を重ね、“Best”を目指す。

自分の力で作品（結果）を生み出す、その「プロセス」を実地体験しましょう。

■ 授業計画

No	内容
第1回	10/5 ・ オリエンテーション ・ 「劇場」の役割と課題 ・ Entertainment 作品の歴史 ～ 総合芸術 “Opera” を例に
第2回	10/19 ・ 作品作製スケジュールについて ■「セリフ」と「ナレーション」～ 両者の違いを踏まえ、言語音声の発信技術を体験する ・ 言語（日本語、外国語）の特徴を踏まえた発音取り組み ・ 滑舌のヒントとトレーニング ・ 音読、朗読、「セリフ術」基礎
第3回	10/26 ■ 物語 (Story) をつくる ～ 物語の発案、組み立て方 ・ 主題 (テーマ) の設定 ・ 登場人物 ・ エピソードと見せ場 ・ 物語の構成 ■ グループ分け ～ 作業グループを作る
第4回	11/2 ■ 台本 (script, libretto, scenario) とは ～ 「台本」「脚本」「シナリオ」「戯曲」 ・ 演劇、芝居、芸能、現場 の用語 ・ 書き方のヒント ・ 原作と台本の比較 ・ 「台本」の読み取り ・ 「脚本」の書き方
第5回	対面講義 ■ ステージング実践 ... この回のみ、対面形式・120分の特別構成にて行います。 ... 外部講師（黒田晋也 氏：歌手、演出家、振り付け家）を招いた実践機会です。 ● 11/7 (土) 彦根キャンパス_講堂 14:00-講義開始-ウォーミングアップ-実践① 55分 14:55-休憩10分 - 15:05- 実践②55分 - 16:00終了 ● 11/8 (日) 大津キャンパス_音楽棟・演奏室 14:00-講義開始-ウォーミングアップ-実践① 55分 14:55-休憩10分 - 15:05- 実践②55分 - 16:00終了 どちらかに参加することで、出席と認めることができます。(事前登録制) ・ 特段の事情により欠出席できない場合は、事前にお申し出ください ・ 講義内容は収録しますので、オンデマンド講義としても展開できる予定ですが、欠出席での体験を推奨します。 ・ いずれの形においても、フィードバックの提出をもって出席と認めます。 この回は【滋賀大学 公開講座】との共同開催であり、社会一般の方々も同時間に受講されます。 「公開講座 内容 より抜粋」 私たちは毎日、声や仕草、表情を通して「表現」しています。その姿は他者にどのように映っているのでしょうか。 本講座では、欧米の学校教育でも活用される演劇メソッドを体験しながら、「観え方・魅せ方」を磨きます。舞台上で培われる表現力は、日常のコミュニケーションにも応用できる実践的な技術です。 あなた自身もまだ知らない魅力を引き出し、人生の“ステージ”を広げてみませんか。
第6回	11/9 ■ 歌詞 (Lyrics) とは ・ 「詩」と「歌詞」の違い ・ 歌詞の読み解き (既存の歌詞を参考に) ・ 作成のヒント
第7回	11/16 ■ 音楽の役割 Sound Effect, Leitmotif) ～ 音楽のもたらす効果と種類 ・ 「ライトモチーフ」とは ・ 「劇伴」とは ・ 「効果音 SE」は ・ 「音」の探し方、作り方
第8回	11/23 ・ 進捗報告会1 (グループごと)_予定
第9回	11/30 ・ グループ指導_予定

第10回	12/7 ・ グループ指導_予定
第11回	12/14 ・ 進捗報告会2～質疑応答_予定
第12回	12/21 ・ グループ指導_予定
第13回	1/4 ・ 進捗報告会1～質疑応答_予定
第14回	1/18 ・ グループ指導_予定
第15回	1/25 ・ 最終講義～報告会

事前学習・事後学習など授業時間外の学習

- ・ 講義の各回ごとに、「個人フィードバック」の提出を求めます。
... フィードバック作業により、学びや理解を個々が確認し、取り組みの必要な課題を明確にしましょう。
- ... 必要であれば個々に調べたり、質問したり、生じた課題をひとつずつ具体的に解決しましょう。
- ・ 講義時間内にグループワークを設けます。それ以外にグループ会議等が必要な場合は、個々にそれを設定しましょう。

事前学習に2時間、事後学習に2時間

成績評価の方法

【評価】

- 各回とも、個々に「フィードバック提出」を課し、それをもって出席と認めます。
×切は原則、次回講義の前日までとします。
- ・ 学習事項の理解、およびそれを活かした取り組み
 - ・ 他者との協働・表現アイディア
 - ・ プロジェクト参画状況 ... 等についての報告（フィードバック）をもとに、個人の成績評価を行います。

グループで作製した「作品」の完成 データ提出 が講義の最終目標ですが、なんらかの特段事情（天災や事故、不測事態の勃発など）でグループが課題提出に至れなかったとしても、個人の成績には抵触しないこととします。
スムーズな作製プロセス、また特筆に値する表現などは加点評価の対象とします。

成績評価の基準

- ・ 全体を100点満点とし、基本を90点と設定します。
90点の内訳は、出席15回を等しく分割し、講義1回についての満点が6点です。
... フィードバック提出による出席確認／3点
... フィードバックに認められる注目すべき事項への加点／1-3点
 - ・ 「作品」の提出、スムーズな作製プロセス、また特筆に値する表現などが加点（1-10点）評価の対象となります。
- ・ 定期試験は行いません。
・ 単位の認定は、大学の定めに則って成されます。

秀: 到達目標を達成し、極めて優秀な成績を修めている。
優: 到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。
良: 到達目標を達成し、良好な成績を修めている。
可: 到達目標を達成している。
不可: 到達目標を達成していない。

教科書

参考書

参考書1	ISBN	978-4-560-08200-				
	書名	発声と身体のレッスン：魅力的な「こえ」と「からだ」を作るために				
	著者名	鴻上, 尚史, 1958-, 鴻上尚史 著	出版社	白水社	出版年	2012.4
参考書2	ISBN	978-4-560-08176-				
	書名	演技と演出のレッスン：魅力的な俳優になるために				
	著者名	鴻上, 尚史, 1958-, 鴻上尚史 著	出版社	白水社	出版年	2011.12
参考書3	ISBN	4-480-68735-1				
	書名	俳優になりたいあなたへ				
	著者名	鴻上, 尚史, 1958-, 鴻上尚史 著	出版社	筑摩書房	出版年	2006.5
参考書4	ISBN	978-4-06-277114-				
	書名	あなたの思いを伝える表現力のレッスン				

	著者名	鴻上, 尚史, 1958-, 鴻上尚史 [著]	出版社	講談社	出版年	2012.1
参考書5	ISBN	4-06-149422-8				
	書名	演劇入門				
	著者名	平田, オリザ, 1962-, 平田オリザ 著	出版社	講談社	出版年	1998.10
参考書6	ISBN	978-4-413-11074-				
	書名	できる大人のモノの言い方大全 = Learn to speak the way successful adults speak				
	著者名	話題の達人倶楽部, 話題の達人倶楽部編	出版社	青春出版社	出版年	2012.10-
参考書7	ISBN	978-4-8005-9003-				
	書名	12歳までに知っておきたい語彙力図鑑:「伝える力」が伸びる!				
	著者名	齋藤, 孝, 1960-, 齋藤孝 著	出版社	日本能率協会マネジメントセンター	出版年	2022.4
参考書8	ISBN	978-4-334-03570-				
	書名	ドキュメント宇宙飛行士選抜試験				
	著者名	大鐘, 良一, 小原, 健右, 大鐘良一, 小原健右 著	出版社	光文社	出版年	2010.6
参考書9	ISBN	9784276215221				
	書名	音楽に本気なきみへ: イッサーリスと読むシューマンの助言				
	著者名	Isserlis, Steven, 1958-, 板倉, 克子, 1962-, スティーブン・イッサーリス 著, 板倉克子 訳	出版社	音楽之友社	出版年	2022.2
参考書10	ISBN					
	書名	『史センセイの声トレ道場』YouTube配信、DVD				
	著者名	渡邊 史	出版社	放送大学教育振興会	出版年	2023

教材に関する補足情報

- 【資料、レジュメ】
- 各回に資料レジュメを用意します。
 - … データはSULMSにて提供します。
 - その他、資料や参考文献の紹介はTeamsにて共有します

資料や進捗プロセス把握のため、当該講義専用クリアファイル等の準備をお勧めします。

参考文献一覧

声と言葉のトレーニング『史センセイの声トレ道場』を活用しましょう。
全15タイトル 身体各パーツごとの実践トレーニングです。
prof.ayakororin にて検索できます

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLgNyIe-ml5GcKbvr5UaA8AGr1S6314C-d>

履修上の注意事項

- 【講義展開にあたっての基本注意事項】
- 各回の学びで得る知識、技術の積み重ねが必要です。
 - グループワークが主軸となります。他者との協働にあたり、基本的な社会ルールを遵守しましょう。
 - グループメンバーおよび担当教員への「報告、連絡、相談」等を適時適切に行いましょう。
 - 作品作成に当たり、公序良俗に反する題材や表現は用いないようにしましょう。
 - 結果としての「作品」を産み出し、より良い物にするため、具体的な努力をしましょう。

【制作費の補助】

当科目内で滋賀大学生が必要とする制作費等の補助として「制作補助費予算」を準備します。

- 滋賀大生が購入する「制作に関わる物品購入」等 に充てることを想定しています。
- … 必要物品は、申請を受けてから大学が発注し、納入されたものをお渡しします。（即時の納入は難しいので、計画的に発注する必要があります）
- … 作製ツール、webアプリ等への課金などについては、事前に担当教員に相談しましょう。見積もり、領収書、またはそれに準ずるものの提示も求めます。
- 滋賀大生が作製会議等でキャンパスをまたいで移動する場合、交通費を補助します。
- … 額面は「各自の通学定期券ルート内から各キャンパスへの移動」にかかるものに適用します。
- … 大学に申請することが必要です。必要が生じた時点で、個別に担当教員に申し出、指示に従ってください。
- 飲食等に適用することはできません。
- 規定額を超えた費用は、原則として、グループメンバーで等しく負担しましょう。

・購入や課金は、グループ内での合議により決定し、全員の了解を得たものであることに留意しましょう。

■ キーワード（「実務経験のある教員による授業科目」は「実務経験」で検索）

PBL 音楽 演劇 芝居 エンタメ 舞台 表現 オペラ ミュージカル 演芸 芸能 演技 ラジオドラマ ヴォイスドラマ 映画 ダンス 歌唱 リベラルアーツ 環びわ湖大学・地域コンソーシアム コミュニケーション

■ 備考（実務経験の内容と授業との関連を含む）

■ 参照ホームページ

【Creating Original Opera／じぶんたちのオペラをつくろう！！】

<https://creating-original-opera.amebaownd.com/>

渡邊史が所属する研究団体です。

これまで小学3年～成人を対象に「オペラ作成ワークショップ」を行ってきました。

【リベラルアーツ教育について】

https://www.shiga-u.ac.jp/program/curriculum/liberal_arts/

【未来創生リベラルアーツプログラムについて】

https://www.shiga-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/liberal_arts_program.pdf

【未来創生リベラルアーツプログラム紹介動画（YouTube）】

<https://www.youtube.com/watch?v=QIRlnC-VeHo>

■ 教員からの一言

「声・言葉は自己表現ツール」「声・言葉を整えるのは身だしなみ」

■ オフィスアワー

随時受付（メールにてアポイントメントをとった後、スケジュール調整をいたします）

■ 連絡先（研究室他）

teamsの個人チャットを使用できます

■ 連絡先（電話番号）

電話は用いません

■ 連絡先（メールアドレス）

aya-w@edu.shiga-u.ac.jp

■ ホームページ

■ 備考（教員情報）